

令和6年（2024年）度行政評価シート【個表】

令和 6 年 8 月 2 日

評価対象事業		評価者	都市計画課担当課長 大江 尚	
まち-11	交通体系整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	都市計画課
重点事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	5-(3) 総合交通	施策の方針	5-(3)-①交通環境の整備

1 事業の目的

対象	市民等
意図	安全で快適なまちをめざした交通環境をつくりだすため。
効果	公共交通機関における利便性の向上を図るとともに、慢性化する交通渋滞の解消や交通事故の減少を図る。

2 令和5年(2023年)度実施した事業の概要

- 国土交通省と連携し、短期的観光渋滞対策として「予約制駐車場に係る実証実験」を実施した。
- 交通マスタープランの改定及び地域公共交通計画の策定に向け、基礎調査を実施した。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和5年度		令和6年度	達成度
				指標(実績値/目標値) 事業費(決算/当初)(千円)	指標(目標値) 予算額(千円)	指標(目標値) 予算額(千円)	
01	鎌倉市交通計画検討委員運営事務	鎌倉地域交通計画策定支援業務委託		/	-		
				0 /	4,193	4,496	
02	歩行者尊重道路整備事業	歩行者尊重道路整備等業務委託等	整備等を行った歩行者尊重道路の路線数(路線)	0 /	1	1	
				0 /	568	568	-
03	(仮称)鎌倉ロードプライシング事業	交通需要管理検討業務委託等		/	-	-	
				0 /	198	0	
04	短期的観光渋滞対策関連調査事業	-	-	/	-	-	
				23,409 /	16,263	1,298	
05	鎌倉市交通マスタープラン改定等	令和5年度交通マスタープラン改定等基礎調査検討業務委託	-	/	-	-	
				5,610 /	9,229	22,028	
06	オーバーツーリズム未然防止・抑制観光推進事業	渋滞緩和を目的とした広告掲載業務等	鎌倉フリー環境手形の発行枚数	- /	-	-	
				0 /	0	22,504	
		財源内訳	国県支出金	22,693 /	15,499	11,251	
			地方債	/			
			その他特定財源	/			
			一般財源	6,326 /	14,952	39,643	
			事業費の合計(千円)		29,019 /	30,451	50,894
		人件費(千円)			15,192	15,586	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	2.3	2.1	2.3	2.0	2.0	
会計年度任用職員	0	0	0	0	0	

## 5 評価結果

### (1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	鎌倉市交通計画検討委員運営事務	指標を設定しない。(委員会の運営に関する内容となることから、指標の設定に馴染まないため。)	交通計画の策定は、基本計画で目標とする鎌倉らしい交通環境の整備に必要な取組であり、構成する事業としては妥当である。	(仮称)鎌倉ロードプライシングの検討状況を見据えながら、鎌倉地域地区交通計画の策定を行っていく予定であるが、(仮称)鎌倉ロードプライシングについては制度的、技術的な課題を抱えており、現在国土交通省に支援を求め、検討している最中である。
02	歩行者尊重道路整備事業	歩行者尊重道路として9路線を位置づけ令和2年度に小町大路で実施したが効果が見られなかったため、他路線の実施には至らなかった。	歩行者尊重道路を整備することにより、生活道路での歩行者の安全や歩行環境の改善が図れる効果が期待できることから必要な取組であり、構成する事業としては妥当である。	生活道路における車両のスピードを抑制するハンプや狭さくなど物理的デバイスの設置は、設置する周辺住民へ音や振動、出入り等の面で理解が得られないことが多く、実現化していないことから、これらに代わるソフト・ハード両面での効果的施策を交通管理者等と協議・検討していく。
03	(仮称)鎌倉ロードプライシング事業	指標を設定しない。((仮称)ロードプライシングについては制度的、技術的な課題を抱えており、現在国土交通省に支援を求め、検討している最中であり、現時点での指標の設定が行えないため)	ロードプライシング等に交通需要マネジメント施策の推進は、基本計画で目標とする交通環境の改善に必要な取組であり、構成する事業としては妥当である。	ロードプライシングについては、制度的、技術的な課題を抱えており、現在国土交通省に支援を求め、検討している。
04	短期的観光渋滞対策関連調査事業	指標を設定しない。(短期的に実施可能な交通環境改善施策の推進について、現在国土交通省に支援を求め、調整している最中であり、現時点での指標の設定が行えないため)	ロードプライシング等に交通需要マネジメント施策の推進は、基本計画で目標とする交通環境の改善に必要な取組であり、構成する事業としては妥当である。	鎌倉市域における交通渋滞の解消のためのロードプライシングの導入に向けた検討、及び短期的な渋滞対策等の観光渋滞対策について、国土交通省と市で協定を締結した。 引き続き国土交通省と継続して協議していく。
05	鎌倉市交通マスタープラン改定等	指標を設定しない。(市の交通計画の策定に関する内容となることから、指標の設定に馴染まないため。)	総合交通計画の改定作業は、基本計画で目標とする鎌倉らしい交通環境の整備に必要な取組であり、構成する事業としては妥当である。	交通マスタープランの改定から20年近くが経過しており、近年の社会情勢に対応した計画ではなくなっていることから、交通環境の変化に対応するため、将来交通ネットワークのあり方の検討を進めていく。
06	オーバーツーリズム未然防止・抑制観光推進事業	交通渋滞抑制のためには、観光目的の自動車交通量の削減を図ることが重要であるため、出発地から公共交通の利用促進を促す「鎌倉フリー環境手形」の発行枚数を指標とした。	交通環境の改善には、交通渋滞の抑制が不可欠であり、構成する事業は妥当である。	コロナ禍以降、鎌倉フリー環境手形の発行枚数が低迷しているため、適切な周知方法を検討していく。

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	3 外部化ができる事業はない
	関連・類似する事業の統合はできないか	2 統合に向けて検討できる事業がある
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	3 上位施策の貢献度を計ることはなじまない
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入
		○-1 受益者負担を求めているが、その額や対象等を再検討すべき事業がある
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済
		協働実施済の場合のパートナー 市民、商工業者、交通事業者、関係行政機関等

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】  拡充  改善・変更  現状維持  縮小  休止・廃止

・鎌倉地域の交通渋滞解消に向けた自動車利用の抑制策等の検討については、平成8年に20の施策を位置付け事業推進を図り、一定の成果は出ている。しかし、20年以上経過する中で、市内道路の混雑状況は大きく変わることはなく、その解消に向けた抜本的な対策を求める市民のニーズが高いことから、事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい。

・令和2年1月15日に、「ロードプライシングの早期実現に関する要望書」を国土交通省に提出し、ロードプライシングの早期実現を目指した、より一層の制度的、技術的な支援と、交通環境の改善を目指した、短期的な取組に関する技術的な支援を要望した。

・自動車利用の抑制策の一つである(仮称)鎌倉ロードプライシング及び短期的に実施可能な交通環境改善施策の実現に向けた検討を進めていく。

・令和7年度の交通マスタープランの改定及び地域公共交通計画の策定に向け作業を進めていく。

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	整備や協議等を行った歩行者尊重道路の路線数						単位	本
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
歩行者尊重道路として位置付けている路線が9路線あり、優先順位を決定し、順次実施することとしているため。	目標値	1	1	1	1	1		
	実績値	1	0	0	0			
	達成率	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		

指標(単位)	鎌倉フリー環境手形の発行枚数						単位	枚
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
交通渋滞抑制のためには、観光目的の自動車交通量の削減を図ることが重要であるため。	目標値				5,000	7,500	10,000	
	実績値				4,679			
	達成率				93.6%			

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名	鎌倉市							
他市実績								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	
----------------------	--